

科目名	音 楽	教員名	土門・勝谷・真保 井関・中村・萩原・森永	開 講	保育科	1年次	前・後期
<p>・目的と内容</p> <p>保育に必要なピアノ演奏技能を養うことを目的とし、音楽知識や理論、また音楽表現のための基礎的奏法を学ぶ。初歩の学生は楽譜の読み方、演奏方法を基礎から学び、1年の終了時には簡単なピアノ曲、子どもの歌の弾き歌い演奏、また子どもの歌の簡易伴奏設定などが行えるようにする。</p> <p>既習者はピアノ小品集、子どもの歌、表現のための音楽、伴奏付け、移調奏などを学習する。なお演奏曲などは個々の学生のレベルに合わせて選曲する。下記授業計画は、初歩の学生を対象とした学習のポイントである。レッスンスケジュール表は年度初めに別紙配布する。</p>							
<p>・授業計画 [ 単位数：2単位、授業週数：30回 ]</p>							
<p>[ 前期 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 高・低音部譜表の読み方 2度音程の曲 拍子</li> <li>3. E～Gまでの音 3度音程の曲 重音奏</li> <li>4. 5度音程の曲 8分音符 変化記号</li> <li>5. 重音の曲 スケール(八長調)</li> <li>6. ペタルの使い方 アンサンブル</li> <li>7. 6 / 8拍子のリズム・奏法</li> <li>8. 三連符の奏法、付点4分音符のリズム、三和音</li> <li>9. スタッカート奏法</li> <li>10. マーチ</li> <li>11. ワルツ 3拍子の奏法</li> <li>12. スケール(八長調、ヘ長調) 3 / 8拍子</li> <li>13. 変奏曲 メゾスタッカート奏法</li> <li>14. 子どもの歌の弾き歌い</li> <li>15. 前期のまとめ</li> </ol>				<p>[ 後期 ]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの歌の弾き歌い コード(C F G G7)の練習</li> <li>2. スケール(ト長調) コード(G C D D7)の練習</li> <li>3. スキップのリズム、コード(F B<sup>b</sup>C C7)の練習</li> <li>4. 16分音符の曲</li> <li>5. 変化記号を用いた曲・装飾音の奏法</li> <li>6. テヌート・レガート奏、美しい表現</li> <li>7. 表現のための曲</li> <li>8. リズム・テンポを正しく、左右の手の交差</li> <li>9. 記号や標語に即して美しい演奏、表現のための曲</li> <li>10. " "</li> <li>11. 装飾音の奏法、左右の手の交差</li> <li>12. 表情豊かな表現 アルペジオ</li> <li>13. 表情豊かな表現</li> <li>14. 1年間のまとめ</li> <li>15. "</li> </ol>			
<p>・講義の進め方</p> <p>隔週で、個人レッスンとML教室でのレッスンを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人レッスン ピアノの個人指導を受けます。1コマで6名の学生が受講する。</li> <li>・集団レッスン MLシステムを使用し、演奏技能を高める。</li> </ul>							
<p>・試験と成績評価</p> <p>ピアノを中心とした演奏力とそれらに関する理論的理解が求められます。そこで毎時間への出席状況、課題学習状況、定期試験等による総合評価を行います。</p>							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>初心者は、特に日々の練習を欠かさないことが必要。練習室は夜8時まで開放している。毎日30分程度の練習を継続的に行えば、単位の取得は難しくない。なお、本単位が取得できない場合、2年次の保育教育実習に参加することができないので、十分に留意すること。</p>							
<p>・使用教材</p> <p>教科書：『ピアノテキスト - レッスン24とその応用』土門裕之他共著(ドレミ楽譜出版社)</p> <p>教科書：『教職課程のための大学ピアノ教本～バイエルとツェルニーによる展開』(教育芸術社)</p>							